

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 大森
施設所在地	大田区山王1丁目26番4号
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現（色）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
水分補給の際に使用する、カラーコップを見て「赤色のコップがいい」「緑色のコップにする」等と、色に興味を示していた。
そこから、「紫色のコップだからぶどうジュース」「赤色のコップだからりんごジュース」と色から連想した発言が聞かれるようになった。また、生活の中にある色に気付き、興味を示した発言が多くあった為、「色で遊ぶ」経験を通して、興味・関心を深めていかなるようになりたいと思い、設定した。

2. 活動スケジュール

色や光に関する製作や遊びなど、子ども達からの声を拾いながら活動を考えて実施した。また、幼児が好きな色を選べるような環境を整え、探求心が芽生えるように行った。

例：①好きな色の絵の具を混ぜて色を作る。自分で作った色で、紙粘土に色を付ける。

②様々な色の油性ペンで透明の袋に色を塗り、中に水を入れて光に当ててみる。

③好きな色の絵の具と水を混ぜて色水を作る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
クレヨン・油性ペン・絵の具・透明の袋これらの様々な色を用意した。
子ども達に使い方を指導し、活動時の安全な環境の中で自由に手に取れる環境設定を行なった。
様々な色に触れられるよう、混ぜるで作った色もとっておき、子ども達が観察出来るようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

8月：様々な色の油性ペンで袋に塗り、水をいれて遊ぶ、
クレヨンを使って画用紙に描く

9月：色水作り

10月：絵の具を混ぜて色を作り、紙粘土に塗る

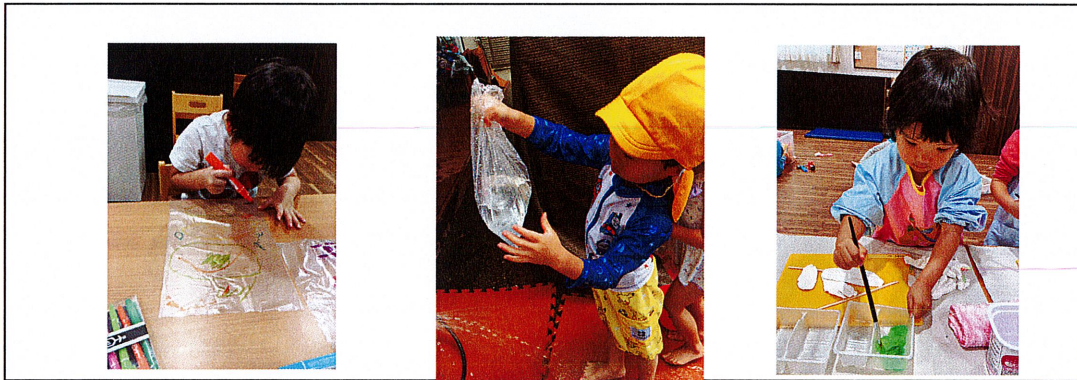
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

絵の具の色を混ぜた活動では、保育者が初めにどんな色になるか子ども達に予想を聞いてから行った。

想像していた通りだったり、思っていた色とは違う色だったり、反応が様々だった。

また、友達の手組んでいる姿にも興味を示し、どんな色が出来上がるか関心を寄せる様子が多く見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもが興味を示していることに寄り添った環境を設定し、活動を考えて行うことで、子ども達の探求心がとても深まる事を学んだ。また、「太陽の赤色と黄色を混ぜて太陽を作ってみよう」等の声が子ども達から聞かれ、子どもの発想を取り入れることで、より探求心を深めることが出来ていた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 大森
施設所在地	大田区山王1丁目26番4号
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

遊びの中でボールが床をはねた時の音、ダンボールを叩いたときの音など身近な音について反応を示す姿が見られた。「ここはこんなおとがする!」「こっちはこんなおと!」と音の違いも楽しむ姿があり、設定した。

2. 活動スケジュール

身近にある物の音の違いを楽しみ、様々な楽器に触れてみる。

- ①身近にある物の音を聞く。
- ②音の違いを発見する。
- ③様々な楽器に触れ、使い方や音の出し方を知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

同じものでも手で叩いたり棒を使ったりと使うもので出る音の違いに気付けるよういくつか叩く物を準備した。また、叩く以外にも音の出し方があるかさり気ない声掛けを行った。ダンボールとラップの芯を準備し、叩いて見たり音の違いが楽しめるように大きさ、形が違うダンボールを準備した。ハンドベル、太鼓、鍵盤ハーモニカなど様々な音の出し方の楽器を準備して実際に演奏出来るようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

9月：保育室内にある物の音の違いを楽しむ。

10月：様々な大きさや形のダンボールを使い、音の違い、音の出し方を知る。

11月：様々な楽器に触れる中で音の違い、音の出し方を知り、演奏してみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
どんな音がするか子ども達に聞き、クイズ形式で音の違いの発見を楽しんだ。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近な物の音への興味を持つ子が多く、些細な子ども達の発見から自分で鳴らしてみたり楽器の音に興味を持ったりと「音」という1つのテーマから大きく広がっていった。子ども達の興味をどのように援助し、環境を作っていくかがとても重要だということを学んだ。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	AIAI NURSERY 大森
施設所在地	大田区山王1丁目26番4号
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ものの仕組み

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

ブロック遊びを通して簡単な物(剣や動物等)から家にある家電やロボットなどの複雑な形を作るようになっていった。友だちと作る中でどのようにしたらロボットの腕が動かせるように作ることができるのかと相談し、試行錯誤する姿が見られた。そこから図鑑で身近にある物の疑問を調べて新しい発見を楽しむことが多くなり、探求心を深めるために設定した。

2. 活動スケジュール

子ども達の疑問を一緒に調べ、解決していく中で自分だけの図鑑を作成する。

例①散歩時や生活の中で気になる物のを探す。

②気になった物の仕組みについて調べる。

③調べながら自分だけの図鑑を作成する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

子ども達が調べられるように様々な種類の図鑑を準備した。

調べたことを書き出せるように紙と鉛筆、色鉛筆を準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

10月：作り方や構造などを図鑑で調べる。

12月：遊びの中で廃材を使用やブロックで再現する。

3月：身近にある物の仕組みについて調べて図鑑を作成する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
気になる物がどんな作りになっているか画用紙で子ども達に書いてから図鑑で調べた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

「なんで」「どうして」という疑問の声を拾っていく事で子ども達自身が自分で調べて問題解決へと導く力がついてきたと感じた。
今回の活動を通して自ら図鑑を手にしてじっくり読み込むことも多くなり、新たな発見を楽しむ姿が見られるようになった。